さんにち NIE ワークシート

山梨日日新聞

年　　組　名前：

問1 化粧品製造販売などを手掛ける会社は、県産品から採取した何を使った、何を何として発売しましたか。

・

使った

・

を

・

として発売した。

問2 ボトルのラベルには、どのような写真を使い、何を英語で表記しましたか。

写真

表記

問3 発売となった商品名を3品目答えてください。

・

・

・

茶 ブドウ ヒノキ

県産材料で芳香剤

甲州の会社が商品化

化粧品製造販売などのグレープヴァイン（甲州市勝沼町菱山、花坂大地社長）が、県産品から採取した芳香成分を使ったルームフレグランスを地域の香りとして発売した。第1弾として、南部町の茶、甲州市のブドウ、富士吉田市のヒノキの3種類を商品化。ラベルにはその自治体の紹介も添え、地域の香りシリーズとして県内外に売り込んでいる。

〈渡辺真紗美〉

同社は芳香剤や化粧品類の製造販売を手がけており、企業から相手先ブランドによる生産（OEM）も多く受けている。自社商品では、地元山梨を前面に打ち出そうと、「地域の香りシリーズ」を立ち上げた。

「NANBU　南部茶の香り」は南部町で採れた茶のうち、商品にならなかった茶葉の塊を譲り受け、芳香成分を抽出した。「茶の香りでリラックスできる」（同社）という。

「KOSHU　甲州ワインの香り」は、甲州市内のワイナリーからブドウの絞りかすの提供を受け、「優雅な香り」（同社）に仕上げた。

「FUJI　富士吉田の水と森の香り」は、富士吉田市の森林地帯で伐採されたヒノキのチップから芳香成分を抽出。「フレッシュな香りが特徴」（同社）という。

ボトルのラベルには、地域の代表的な景色の写真を入れ、人口や面積、主要な道路、道の駅の名称などを英語で表記した。100ミリリットル入りで、ファイバースティックが付属している。道の駅こぶちさわ（北杜市）などで販売している。2640円。

花坂社長は「今後も山梨のさまざまな特産品から香りを抽出し、各地域を代表する香りとして土産品需要を取り込んでいきたい」と話している。

「NANBU」のルームフレグランス

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します
Copyright © 2023 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.